

2014年9月1日 全5頁

【統計情報】景気が見えるグラフ32(2014年9月号)

データバンク室

[要約]

■ I. 国内景気

- GDP統計／実質成長率…………… 駆け込み需要反動で-1.7%
- 鉱工業生産指数…………… このところ弱含みの動き
- 日銀短観／業況判断DI…………… 2Q実績は悪化、大企業は先行き改善見込み
- 景気動向指数CI…………… 先行指数、6月は多少上昇
- 設備投資動向…………… 機械受注伸び率はさらに減速
- 消費総合指数…………… 2カ月連続回復
- 貿易収支…………… 赤字幅は先月並み
- 対米・対アジア輸出数量…………… 横ばい傾向続く
- 新設住宅着工…………… 前年比で5カ月連続の減少
- 首都圏マンション販売…………… 前年比20%程度減が続く
- 物価動向…………… 7月もCPI伸び率は前月並み
- マネーストック…………… マネタリベース伸び率は低下するも高水準
- 完全失業率…………… 3.8%に上昇
- 有効求人倍率…………… 1.10倍で横ばいも水準は高い
- 企業倒産件数…………… 10%程度の減少が続く
- 日銀短観／資金繰り判断DI…………… 大企業、中小ともに改善

■ II. マーケット

- | | |
|-----------------|-------------|
| 為替レート | 実効為替レート |
| 日米株価指数 | 中国・ブラジル株価指数 |
| 日米欧政策金利 | 日米独国債流通利回り |
| 中国・ブラジル・インド政策金利 | 商品指標（原油・金） |

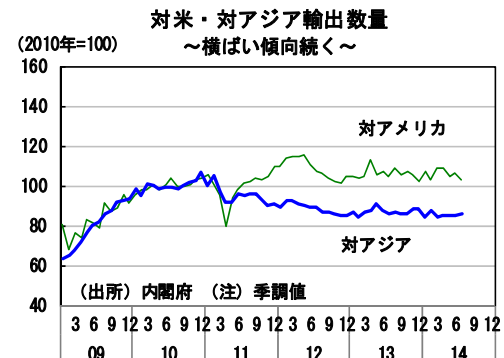
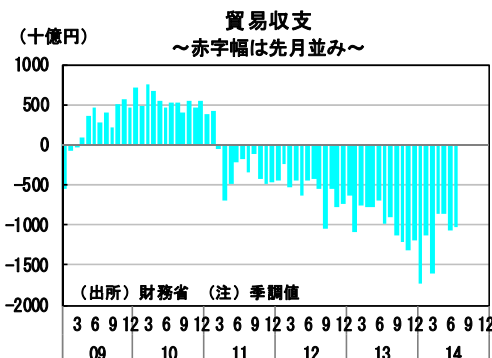
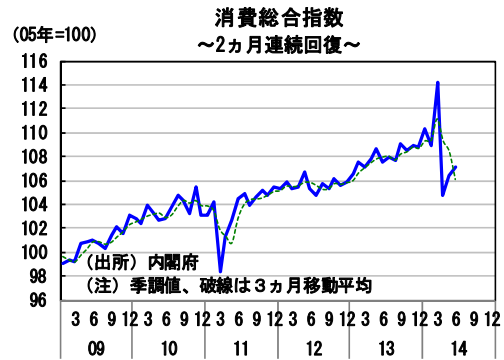
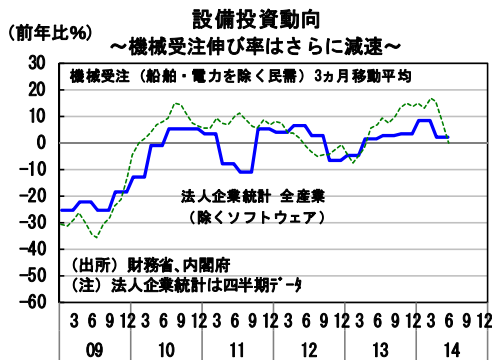
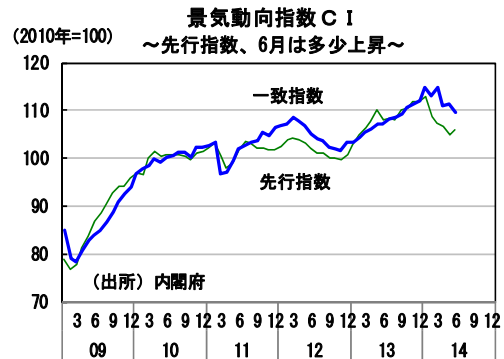
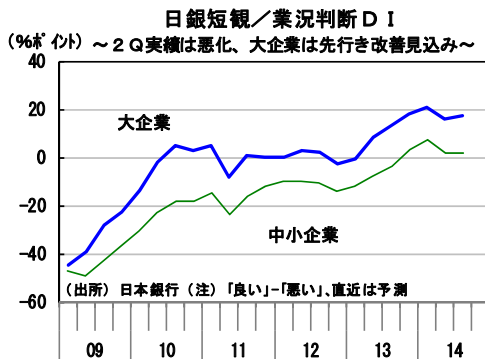
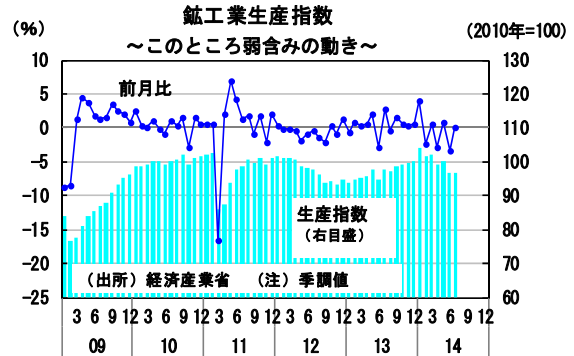
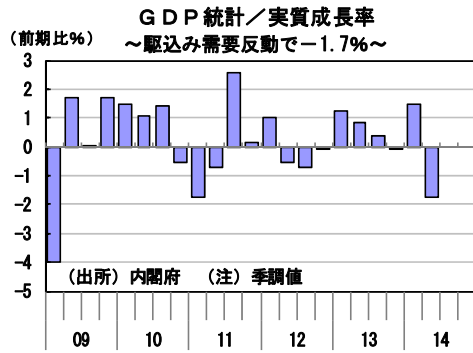
■ III. 海外経済

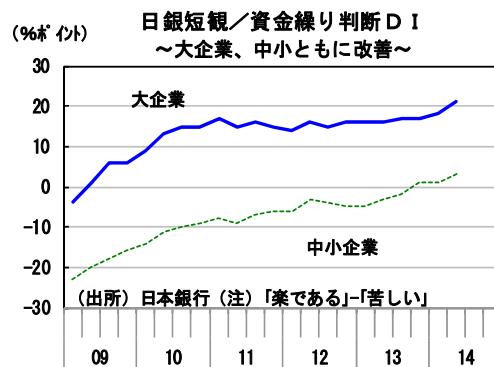
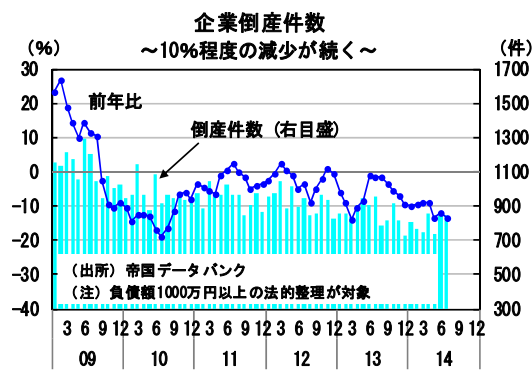
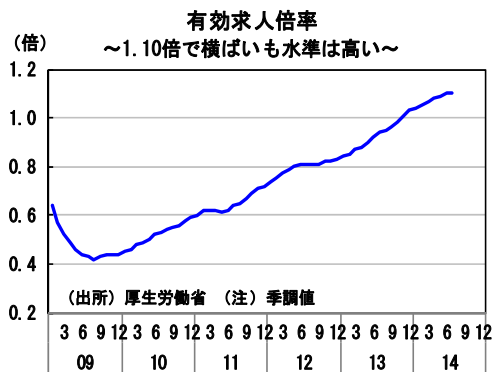
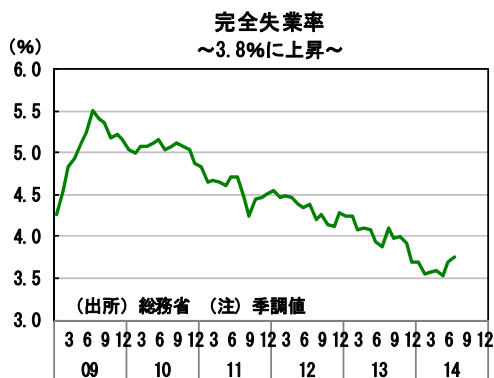
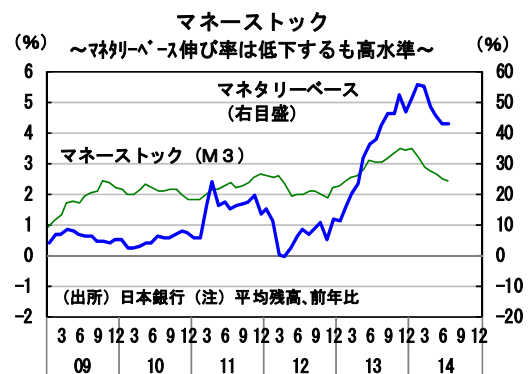
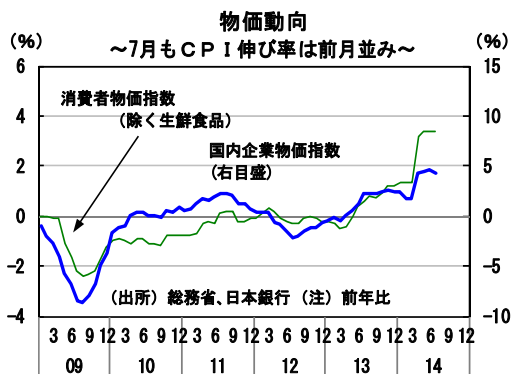
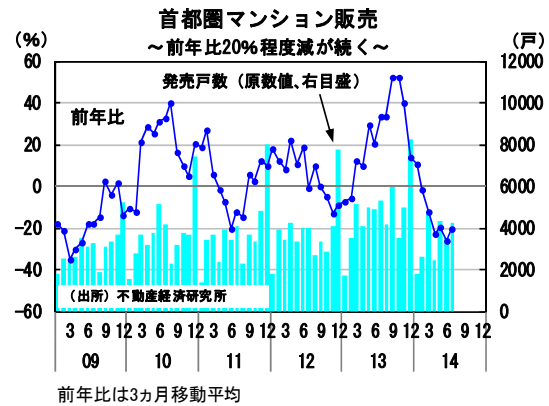
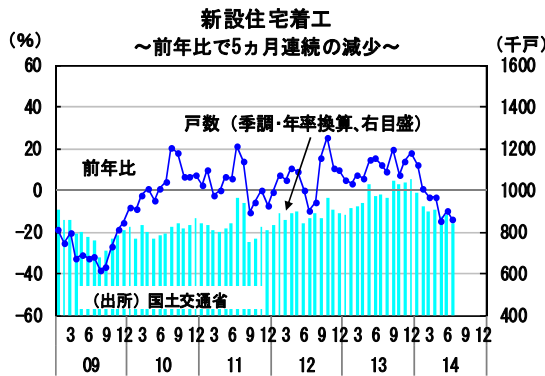
- 米国GDP／実質成長率…………… 2Q改定値、+4.2%に上方修正
- 米国雇用統計…………… 7月の雇用者数は20.9万人増
- 米國小売売上高…………… 7月の全体は横ばい（前月比+0.0%）
- 米国PCEデフレーター…………… 7月のコアデフレーターは+1.5%
- 中国GDP／実質成長率…………… 2Q、伸び率+7.5%に
- 中国鉱工業生産…………… 7月は+9.0%
- 中国消費者物価指数…………… 7月の全体は+2.3%
- 中国PMI景気指数…………… 8月は51.1%、前月より0.6ポイント低下

当資料は9月1日までの公表データで作成しています。

* 大和総研のウェブサイトでは、「景気が見えるグラフ32(詳細版)」を公開しております。ご活用いただければ幸いです。
<http://www.dir.co.jp/InfoManage/datarasc-s.html>

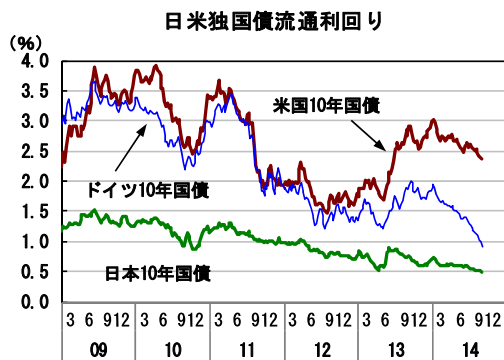
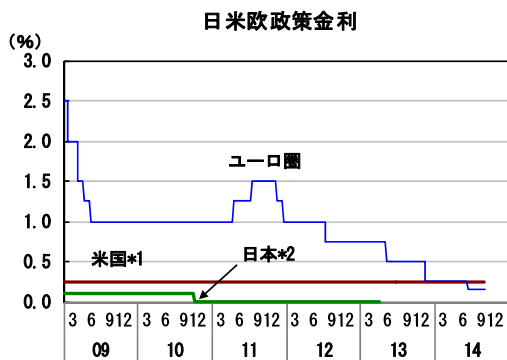
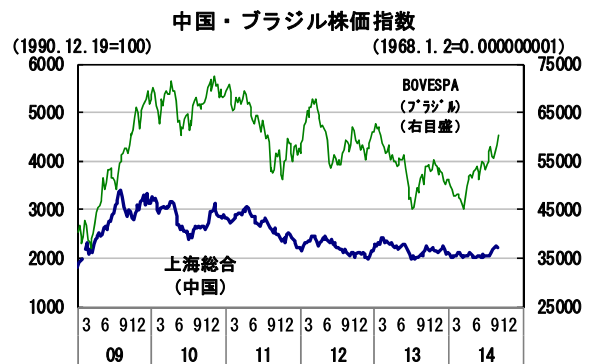
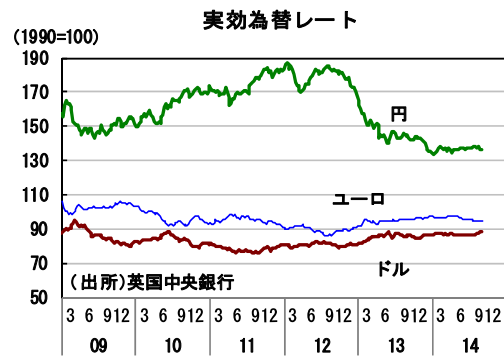
I. 国内景気



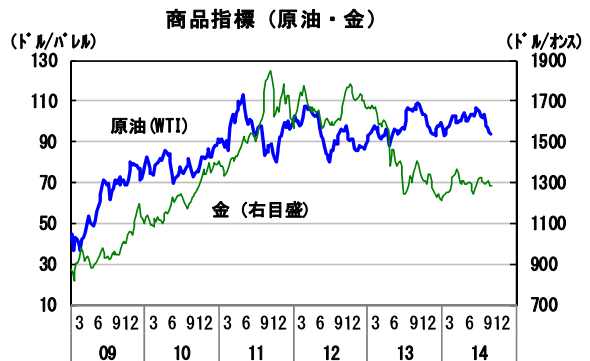
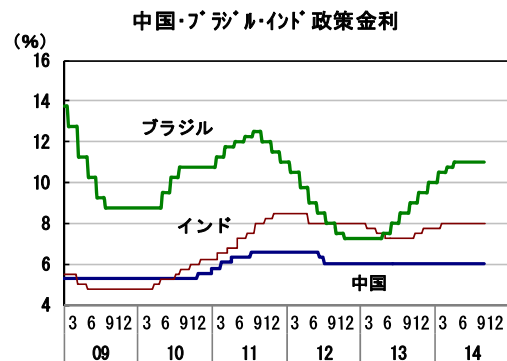


前年比は3ヵ月移動平均

II. マーケット



*1)米国 2008/12より0.00%~0.25%
 *2)日本 金融市場調整の操作目標をマネタリーベースへ変更(2013/4)



(出所) 当頁、全グラフのデータは、各国証券取引所、各国中央銀行等の公表データです。

Ⅲ. 海外経済

